

令和 4 年 9 月 12 日

京都信用保証協会

独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構が発行する 「ソーシャルボンド」の購入について

京都信用保証協会は、このたび、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（以下、「本債券」という）を購入いたしました。

「ソーシャルボンド」とは、調達された資金が社会的課題の解決に資する事業に充当される債券です。

同機構のソーシャルファイナンス・フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA：International Capital Market Association）が定める「ソーシャルボンド原則」及び金融庁「ソーシャルボンド・ガイドライン」に適合する旨、格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しております。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う高速道路事業における債務のリファイナンスの財源として活用され、高速道路の建設や運営管理を担う高速道路会社の役割・機能とあわせて、我が国が抱える社会的課題の解決、また「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献します。

当協会は、令和3年7月7日のSDGs宣言にもとづき、「中小企業の振興と地域経済の活力ある発展に貢献する」という基本理念の下、世界共通の目標であるSDGsの趣旨に賛同し、関係機関との連携を図り、中小企業者など地域社会の皆様とともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。